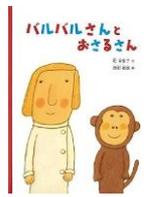


デジタル版 すいせん図書 第240回 令和7年9月

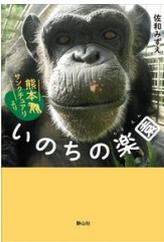
長野県図書館協会小中学校図書館部会で、県内の小中学校の先生方が何百冊もの本の中から厳選したすいせん図書です。
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
かえるのほんや 3びきのみならい 	やぎ たみこ(作) PHP研究所 2025年5月 1,650円	かえるの本屋に見習い3匹。最後の仕事は本作り。どんな本にするか悩んでいると本屋に入れないとかげに会いとかげのための本に決める。『とかげのお客さん』3匹で試行錯誤を繰り返し本だけでなくとかげコーナーまで。初絵本大成功。 9784569882192 ・ 726
バルバルさんとおさるさん 	乾栄里子(文) 西村敏雄(絵) 福音館書店 2025年3月 1,320円	バルバルさんはとこやさん。突然おさるさんが来てエプロンを着けてお手伝い。最後にはおさるさんが切ったヘアスタイルが大流行。おさるさんの熱心さ、それを温かく見守り応援するバルバルさん。おさるが来た理由にくすつとします。 9784834088373 ・ 913
せかいいちのおおどろぼう 	みきつきみ(作) 菅野由貴子(絵) 文研出版 2024年11月 1,650円	暇をもてあました世界一の泥棒。ある日彼のもとへ世界一貧乏な村の娘ミラが訪ねてくる。どんなものでも盗んでやる！ と息巻く大泥棒は、貧乏、こそどろ、怠け心、諦めなどたくさんのもを盗んでいく。次はどうなる？ とドキドキしながら読める本。 9784580826199 ・ 913
びんのなかのゆめ 	デボラ・マルセロ(作) なかがわちひろ(訳) 光村教育図書 2025年2月 1,760円	夢をもつことは素敵だが、時には諦めなければならぬこともある。「びん」の中に「ゆめ」を入れた3人組の、一度は手放した夢をもう一度叶えようと行動していく姿に勇気づけられる作品。絵もシンプルで綺麗。 9784895721578 ・ 933
まほうがいっぱい！ 	たかおゆうこ(作) ほるぶ出版 2025年4月 1,738円	「わたしのこどもを助けてくれてありがとう。お礼にまほうの道具を差し上げましょう。袋の中にまほうの道具がたくさん入っています。」黒猫がくれた4つの袋。一つ一つの袋の中身にわくわく。最後一つに決めないといけぬ。どの袋？ 何をする？ 9784593103423 ・ 913
おひるねしてるの？ 	オリヴィエ・タレック(作) 石津ちひろ(訳) あすなろ書房 2025年5月 1,760円	「死」に初めて遭遇した小さなもの達の戸惑いと悲しみを描いている。美しい声で歌っていたクロツグミの死を前に、ポックは「おひるねしてるの？」と目覚めを待つが…。訳の一部に？と感じるところもあるが、生命について考えることができる一冊。 9784751532560 ・ 953

小学校中学年(3・4年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
<p>わたしはBIG! ありのまま、かんぺき</p> 	<p>ワシュティ・ハリソン(作) ジェーン・スー(訳)</p> <p>ポプラ社 2025年2月 2,035円</p>	<p>心も体も大きく育った黒人の女の子。他の子ども達より体が大きかったため、心ない言葉を浴びせられたり、子どもらしい行動をして怒られたりしてきた。ありのままの姿を受け入れることに大切さを考えさせてくれる一冊。</p> <p>9784591183946 ・ 933</p>
<p>最後のシロクマ</p> 	<p>蓼内明子(作) しろさめ(絵)</p> <p>金の星社 2025年1月 1,540円</p>	<p>ふたばとそうたは、図書館で見つけた不思議なカードに導かれ、クラウンという名前のシロクマの部屋にたどり着いた。クラウンは、地球温暖化でアザラシがとれなくなり、「最後のシロクマ」の気持ちを想像していた。私たちが地球のためにできることは何か。</p> <p>9784323075648 ・ 913</p>
<p>や・い・ろ・の</p> 	<p>いまたあきこ(文) 南波タケ(絵)</p> <p>文研出版 2025年1月 1,540円</p>	<p>都会の小学校に転校した大樹。クラスメイトからなまりをバカにされ、友だちもできずにさみしい毎日を過ごしていた。ある雨降りの日、竹やぶの中にたたずむ建物を見つける。看板には「や・い・ろ・の」と書いてあった。その建物に入ると、陰陽師といわれる老人がいた。</p> <p>9784580826441 ・ 913</p>
<p>夢を持つ、夢中になる、 あとはかなえるだけ 車いすテニス小田凱人</p> 	<p>秋山英宏(文)</p> <p>Gakken 2025年2月 1,650円</p>	<p>「自分らしくあること」。車いすテニスに出会い夢を追いかけ続けた少年が辿り着いたのは、史上最年少での四大大会優勝だった。ミスをおそれずどんな場面でもせめるプレーを。だれもがあがれる選手に。目標にまっすぐ向かっていく選手の話。</p> <p>9784052060144 ・ 783</p>
<p>いのちの楽園 熊本サンクチュアリより</p> 	<p>佐和みずえ(著)</p> <p>静山社 2024年11月 1,430円</p>	<p>熊本サンクチュアリ。ここはチンパンジーだけが49匹もくらしています。医学実験の役目を終えたチンパンジーたちです。薬の開発のために病気になる、実験台になってきたチンパンジーの残りの生命を幸せに過ごしてもらおう施設です。</p> <p>9784863897878 ・ 480</p>

小学校高学年(5・6年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
<p>魔女だったかもしれないわたし キーディの物語</p> 	<p>エル・マクニコル(著) 櫛田理絵(訳)</p> <p>PHP研究所 2025年1月 1,760円</p>	<p>双子のキーディとニナはお互いにちがいを意識し心が離れていく。キーディはいじめの退治を請け負いその報酬である計画を立てる。姉妹の絆の行方は…。同調性やちがいへの不寛容さと葛藤しながら強く進む自閉の少女と家族の愛の物語。</p> <p>9784569881997 ・ 933</p>
<p>わたし、わかんない</p> 	<p>岩瀬成子(著) 酒井駒子(装画)</p> <p>講談社 2025年4月 1,540円</p>	<p>主人公・中は、いつも「わかんない」と言うために、「わかんないちゃん」と呼ばれている。まじめでなくなることが夢の幼馴染センくん、別居し新生活を始めた両親。大人も子どもも「わかんない」を抱えて居場所や答えを探していく。</p> <p>9784065389522 ・ 913</p>
<p>おとなになりたくないわたし</p> 	<p>夜野せせり(著) 友風子(絵)</p> <p>ポプラ社 2025年1月 1,760円</p>	<p>主人公のすみれは、表立って何かをすることがいやだから、学校では目立たないようにしています。「自分のからだにだけいたい」成長にとまどう少女たちの姿を通して、同じ悩みをもつ人に届いてほしい物語です。</p> <p>9784591184356 ・ 913</p>
<p>まさきの虎</p> 	<p>濱野京子(作) こうの史代(絵)</p> <p>童心社 2024年12月 1,540円</p>	<p>主人公の真莉愛は、5年ぶりに母の地元に戻ってきた。かつて2カ月だけ過した保育園で出会った少年「まさき」が、5年前の東日本大震災で亡くなったことを知る。真莉愛は、まさきについて調べていく中で命の尊さと儚さを感じていく。</p> <p>9784494020867 ・ 913</p>
<p>探検家</p> 	<p>キャサリン・ランデル(著) 越智典子(訳)</p> <p>ゴブリン書房 2024年12月 1,870円</p>	<p>飛行機の墜落で、ジャングルの真ん中に放り出された、それぞれに複雑な事情を抱える4人の少年少女。かつて探検家だった男も登場し、過酷な、でも美しい大自然の中で、ぶつかり合いながらも折り合い、深い絆を結んでゆく。挿絵も美しい。</p> <p>9784902257472 ・ 933</p>
<p>もしも明日、ぼくの足がなくなったら</p> 	<p>舟崎泉美(著)</p> <p>Gakken 2025年2月 1,430円</p>	<p>病気や事故などの理由で自分の足がなくなってしまった5人の人達の車イスや義足を使って生活をしている様子を書いたノンフィクション。辛い現実を受け入れ、足があったときより世界が広がり、周囲に気配りをして生きていく人達に自分の世の中の見方を変えてくれる一冊。</p> <p>9784052057212 ・ 369</p>

中学生向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
<p>閉じこめられた「森の人」</p> 	<p>ミッシェル・カダルスマン(著) 村上利佳(訳) あすなろ書房 2025年5月 1,760円</p>	<p>読み応えのある一冊。「森の人」は、オランウータンを指す。檻の中のオランウータン、環境保全活動に取り組むマリア、自分だけが学校に通っていることに対して罪悪感を抱えるアリのそれぞれの視点から、心の葛藤が描かれている。</p> <p>9784751532539 ・ 933</p>
<p>サンショウウオの歌が聞こえてくるよ 生物部</p> 	<p>森川成美(作) 森川泉(絵) 新日本出版社 2025年3月 1,650円</p>	<p>生物部に入った同学年女子3人。はっきりものを言う弓削さんと生き物を大切にする石川さんとの間で色々思い悩む主人公に、気持ちを沿わせて読むことができました。</p> <p>9784406068741 ・ 913</p>
<p>嘘泣き女王のクランクアップ</p> 	<p>神戸遥真(著) 萩森じあ(絵) Gakken 2024年11月 1,760円</p>	<p>嘘泣きの上手な女の子凜子と男が人前で泣くのは恥ずかしいと思っている男の子波瑠が、映画の撮影や親とのエピソードを通して、新たな価値観に気が付いていく。無意識の「当たり前」という価値観について考えてみるきっかけとなりそうな作品。</p> <p>9784052060380 ・ 913</p>
<p>3倍速ドッペルゲンガー</p> 	<p>久米絵美里(著) 森川泉(絵) アリス館 2024年11月 1,650円</p>	<p>近未来では「ドッペル再生」という技術に依存し、少し先の未来を予測し失敗を避けながら生活している。そんな中、5人の高校生がこれを禁止するゲームを始めることによって自分の判断を信じること、他人との関わりに身を投じること、「二人の瞬間」に集中することといった「人間として生きる」行為がいかに尊く、困難であるかということに気づかされていく。</p> <p>9784752011101 ・ 913</p>
<p>そこに言葉も浮かんでいた 文芸部</p> 	<p>おおぎやなぎちか(作) 彩田花道(絵) 新日本出版社 2024年12月 1,650円</p>	<p>中学校の文芸部を舞台に言葉という手段を通してそれぞれが抱える悩みや孤独を詩や物語、俳句などを制作することにより見つめなおし、他社との距離を少しずつ縮めていく。「言葉にすることで自分を知る」という感覚を登場人物達の成長と共に再体験できる。</p> <p>9784406068185 ・ 913</p>

学習図書

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
<p>くらべてみたらすごかった！ 動物の今と昔ずかん</p> 	<p>土屋健(著) かわさきしゅんいち(絵) 群馬県立自然史博物館(監修) ほるぷ出版 2024年12月 5,280円</p>	<p>比べてみるとすごかった！左ページに今、右ページに昔。見開きで1つの動物の今と昔がわかる本。全部で94種。ナマケモノの昔は、木に登れなかったんだって。どうやってねていたのかな？ そんなヒミツがかくされている本。</p> <p>9784593104567 ・ 481</p>
<p>わらって、考える！ イグ・ノーベル賞ずかん</p> 	<p>萩原慶(絵) 古澤輝由(監修) ほるぷ出版 2024年12月 5,280円</p>	<p>人々を笑わせ、そして考えさせられる研究におくられるイグ・ノーベル賞について、楽しく具体的に紹介されている。一見役に立たないように思えても、科学の思わぬ発展につながることもあるそう。好奇心やユーモア、発想力…様々に心ゆさぶられます。</p> <p>9784593100453 ・ 002</p>
<p>行ってみよう！首都圏外郭放水路 みんなを守る防災のしせつ(2)</p> 	<p>303BOOKS(編著) ほるぷ出版 2024年12月 3,080円</p>	<p>台風や大雨が多い日本では、常に水害の不安がある。地下に巨大な首都圏外郭放水路が造られ、大雨のときに水の量を調整できるようになり、浸水は減った。自分たちの地域の特徴を考えつつ水害へのそなえについて考える一助となる。</p> <p>9784593105137 ・ 369</p>
<p>わすれないヒロシマ・ナガサキ 1 原爆はなぜ落とされた</p> 	<p>安斎育郎(著) 新日本出版社 2025年4月 3,850円</p>	<p>戦後80年。そしてニホンヒダンキョウがノーベル平和賞を授賞した今。原爆が作られた背景や広島・長崎に投下された理由、その影響について、科学的にわかりやすくテーマごとにまとめられている。改めて原爆について正しく問い直したい。</p> <p>9784406068666 ・ 369</p>
<p>おせち</p> 	<p>内田有美(文・絵) 満留邦子(料理) 福音館書店 2024年11月 1,100円</p>	<p>おせちりょうりってしてる？ みんなねがいがかめられたひとつひとつの料理とその願いが細密な絵とともに表されている。一の重、二の重、三の重。残していきたい伝統が一冊に詰め込まれています。</p> <p>9784834088137 ・ 596</p>
<p>虫の生きかたガイド</p> 	<p>澤口たまみ(文) あべ弘士(絵) 福音館書店 2025年4月 1,430円</p>	<p>虫の体のつくりや暮らし方は実に様々で、それは環境に合わせて自分を変えてきたから。生きていくのに編み出した工夫であり、1つ1つにちゃんと意味がある。そんな虫たちへの共感やリスペクトが伝わる文章とイラストに、虫を見直したくなる。</p> <p>9784834088281 ・ 486</p>